神戸新聞 2025年08月30日 土曜日 面名 朝文化 １３ 17ページ

左の文章を読んで下の問いに答えましょう。

露見した「無意識の選別」

万博・帰宅困難問題を考える　小峰ひずみ

大阪メトロ中央線が運転見合わせとなり、大屋根リングの下で休憩する人たち＝14日午前1時1分、大阪市此花区の夢洲

①8月13日夜、大阪・関西万博の会場につながる唯一の鉄道路線、地下鉄大阪メトロ中央線が運転を見合わせ、1万人超の来場者らが翌朝まで会場に取り残された。トラブルを巡る交流サイト（SNS）上での言説を、批評家の小峰ひずみさんに読み解いてもらった。

×　×

万博は以前より防災・安全対策の不備を幾度も指摘されてきたが、その一端が露見した形だ。パビリオンなどで多くの人が一夜を過ごしたが、体調不良や熱中症での搬送者も出た。

他方、SNS上では、人気のない深夜の万博を楽しむ様子がポジティブに「オールナイト万博」と称され拡散されもした。気になったのは②万博関係者たちの振る舞いである。

「病気や障害のある人にはこの事態を楽しむことはできない」といった批判を、テーマ事業プロデューサーの落合陽一氏は「粗探し」だと一蹴した。大屋根リングの設計者である藤本壮介氏は「国境や立場を超えて、人が人と共に人のための素晴らしい場を作る、ということを実感しました」と、まるで万博の理念が「オールナイト万博」でこそ実現したかのような投稿をしている。

こみね・ひずみ　1993年大阪府生まれ。2021年の群像新人評論賞優秀作に選ばれる。著書に「平成転向論」「悪口論」。

掲げた「いのち輝く―」に疑問符

そもそも③大阪・関西万博は、カジノ構想ありきで安全性に疑念のある夢洲（ゆめしま）を会場にした段階から、万博に行ける人／行けない人が無意識のうちに〈選別〉されていた。大阪府内でも、児童や生徒の保護者らが「万博校外学習を心配する親子の会」を発足させるなど、反発は強かった。にもかかわらず、対策は後回しだ。万博が〈無意識の選別〉への居直りを決め込んだ証左である。「いのち輝く未来社会のデザイン」を掲げる万博だが、今回の事態でその正当性に再び疑問符がつけられることとなった。

藤本氏や落合氏らの言説は、失墜した正当性を回復させる役割を担った。しかし、両氏らが依拠したポジティブな意見は、基本的に緊急事態を〝楽しみ〟〝発信する〟余力のある人々のものだ。それらに便乗して批判を矮小化（わいしょうか）し、〝万博らしい〟出来事だったと言い繕うのはおかしい。

もちろん来場者の機転やスタッフの働きは素晴らしい。しかし、災害時によく見られるように、人間は緊急事態に陥れば助け合うものだ。万博関係者の中に、助け合い精神を利用した、〈無意識の選別〉への居直りはないか。「いのち輝く未来社会」を、本気でデザインする気があるのかを疑う。この万博の延長線上にあるのは、公正さに欠けた社会ではないだろうか。そのような万博も、未来も謹んで返上したい。

1　傍線部①のような状況の中、「オールナイト万博」として楽しんだ人々は、どんな人々か。本文中から23字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

□□□～□□□

2　オールナイト万博を楽しめなかった人は、どんな人ですか。本文中から9文字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

□□□～□□□

3　傍線部②で、万博関係者はどのように振る舞ったかを説明した次の文の空欄に、本文中から適語を抜き出して入れましょう。ただし、最初は3文字、後は本文中から20字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

この事態を楽しめない人がいるという批判に対し、□□□とはねつけたり、

□□□～□□□と万博の理念が実現したかのような投稿をした。

4　万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」ですが、この事態をどう考えますか。あなたの意見を書きましょう。

NIEワークシート　中～高校

NIEワークシートのこたえ（2025年９月４日公開）

◆ワークシート「万博帰宅困難問題(社会 国語)」
2025.8.30付　朝刊　17面　解答

１ 緊急事 ～ る人々

２ 病気や ～ ある人

３ 粗探し　　人が人 ～ を作る

４ 自由記述